2026年度

（様式１）

東京大学大学院情報理工学系研究科博士課程学生

特別リサーチ・アシスタント（IST-RA）申請書

　私は、本制度に採用された場合には、2026年春に募集される2027年度採用分の日本学術振興会特別研究員に必ず申請いたします（2027年3月までに博士後期課程を修了予定の者は免除）。また、日本学術振興会特別研究員への申請を怠った場合には、その時点で、本制度の採用取消・給与の返還を求められても異議は申し立てません。

**１．【申請者情報等】**

(1)　申請者情報

|  |  |
| --- | --- |
| （フリガナ）氏名 | 　 |
| 所属専攻（予定を含む） | 　　　　　　　　　　　　　専攻 | 学籍番号 | (まだ入学していない場合は受験番号) |
| 博士後期課程入学年月（予定を含む） | 　　年　　月入学 | 受給歴 | 　　~~年~~　　月 | 国籍 |  |
| 連絡先 | 内線番号 |  | E-MAIL |  |
| 指導教員（予定を含む） | 所属部局 |  |
| 氏名 |  | 職名（教授・准教授等） |  |

＊博士後期課程入学年月には、2026年4月のように入学年月を記入

受給歴には、これまでのIST-RAの受給期間を合計した年月を記入

(2)研究課題

|  |
| --- |
|  |

(3) 奨学金等受給状況［2026年4月時点（予定）の受給月額※］

※実際に受け取る予定の額を記入すること。10月入学予定者又は在学者は2025年10月時点（予定）。

|  |  |
| --- | --- |
| 日本学術振興会特別研究員 　　　　月額　　　　　　　　　　　円 | 日本学生支援機構奨学金（第一種・第二種・併用）いずれかを記入する　　　　月額　　　　　　　　　　　円 |
| 国費外国人留学生　　　　月額　　　　　　　　　　　円 | 外国政府奨学金：（奨学金名を記入）　　　　月額　　　　　　　　　　　円授業料の補助（東大の授業料免除は除く）：　□ 有（金額を記入）　　　　□ 無 |
| ＲＡ（IST-RAは除く）　　　　月額　　　　　　　　　　　円 |
| ＴＡ　　　　月額　　　　　　　　　　　円 | その他・民間奨学金：（奨学金名を記入） 　　　　月額　　　　　　　　　　　円授業料の補助：　□ 有（金額を記入）　　□ 無 |
| プロジェクト給与（プロジェクト名を記入） 　　　　月額　　　　　　　　　　　円 |
| 研究科技術補佐員又は事務補佐員として雇用　　月額　　　　　　　　　　　円 | 東京大学での給与支給用個人番号（8ケタ）＊ |  |

＊わかる場合のみ記入ください。付与されていない場合・忘れた場合は空白で結構です。

|  |
| --- |
| **２．【研究計画】**※適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。なお、本項目は１頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。**(1) 研究の位置づけ**博士後期課程を通じて取り組む研究の位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記入してください。 |

|  |
| --- |
| **【研究計画】（続き）**※適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。なお、各事項の字数制限はありませんが、全体で２頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。**(2) 研究目的・内容等**① 博士後期課程を通じて取り組む研究計画における研究目的、研究方法、研究内容について記入してください。② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。③ 研究の特色・独創的な点（先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等）にも触れて記入してください。④ 研究計画が所属研究室としての研究活動の一部と位置づけられる場合は申請者が担当する部分を明らかにしてください。⑤ 研究計画の期間中に情報理工学系研究科以外の研究機関（外国の研究機関等を含む。）において研究に従事することも計画している場合は、具体的に記入してください。 |

（研究目的・内容等の続き）

|  |
| --- |
| **３．人権の保護及び法令等の遵守への対応** ※本項目は１頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。本欄には、「２.研究計画」を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など指針・法令等（国際共同研究を行う国・地域の指針・法令等を含む）に基づく手続が必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記入してください。例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、国内外の文化遺産の調査等、提供を受けた試料の使用、侵襲性を伴う研究、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、本学内外の情報委員会や倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となりますので手続の状況も具体的に記入してください。なお、該当しない場合には、その旨記入してください。 |

|  |
| --- |
| **４．【研究遂行力の自己分析】**※各事項の字数制限はありませんが、全体で２頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。本申請書記載の研究計画を含め、当該分野における(1)「研究に関する自身の強み」及び(2)「今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素」のそれぞれについて、これまで携わった研究活動における経験などを踏まえ、具体的に記入してください。 |

*（※）本行を含め、以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。*

*・下記（１）及び（２）の記入にあたっては、例えば、研究における主体性、発想力、問題解決力、知識の幅・深さ、技量、コミュニケーション力、プレゼンテーション力などの観点から、具体的に記入してください。また、観点を項目立てするなど、適宜工夫して記入してください。
なお、研究中断のために生じた研究への影響について、特筆すべき点がある場合には記入してください。*

**(1) 研究に関する自身の強み**

*（※）本行を含め、以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。*

*・記述の根拠となるこれまでの研究活動の成果物（論文等）も適宜示しながら強みを記入してください。*

*成果物（論文等）を記入する場合は、それらを同定するに十分な情報を記入してください。*

*（例）学術論文（査読の有無を明らかにしてください。査読のある場合、採録決定済のものに限ります。）
著者、題名、掲載誌名、巻号、pp 開始頁－最終頁、発行年を記載してください。*

*（例) 研究発表（口頭・ポスターの別、査読の有無を明らかにしてください。）
著者、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記載してください。
（発表予定のものは除く。ただし、発表申し込みが受理されたものは記載してもよい。）*

**(2) 今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素**

（研究遂行力の自己分析の続き）